

常一小だより

令和3年4月9日

松戸市立常盤平第一小学校

児童数 96名

4月号

学校HPアドレス <http://www.matsudo.ed.jp/toki1-e/>

ご入学おめでとうございます

校長 平松 澄明

本日令和3年度第62回入学式を挙行し、3名の新入生をお迎えしました。最上級生の6年生の子どもたちが3人の門出を祝福する「アットホーム」な雰囲気の入学式となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。松戸一小さい学校だからこそできる教育活動を展開してまいりますので、新入生の保護者の皆様はもとより、本校の全ての皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

さて、去る5日の始業式で、子どもたちに今年の新入生の人数を言ったところ、リモートにもかかわらず校舎内にどよめきが広がりました。そんな中、私はこんな話をしました…。

今年の常一小は、3人の新1年生を迎えて全校児童96人でスタートします。松戸市内で一番少ない児童数を更に更新することになります。ちょっとビックリする出来事ですが、どんなに小さな学校になったとしても、どこよりも楽しい、充実した学校生活を送ることができる学校にしていこうと先生たちは強く思っています。

去年よりどのくらい小さな学校になったかという、去年の7割…、つまり去年10人兄弟だったのが、今年は7人兄弟になったようなものです。去年10人で分けていたピザを、今年は7人で分けて食べられるということになり、「楽しみ」は1.5倍楽しめるということですが、一方で、去年まで10人で分担していたお手伝いは、今年は7人で分担することになります。つまり、「責任」も1.5倍となり、一人ひとりがしっかりしないといけないことにもなります。

「One for all, All for one.」という言葉があります。「一人はみんなのために、みんなは一人のために。」と訳されて、チームが一つになって助け合って頑張ろうという意味で使われることが多いようです。でも、本当の意味は、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために。」ということで、みんなで力を合わせて一つの目的を達成しようという誓いの言葉のようなのだそうです。有名な三銃士のお話の中にも出てくるそうです。みんなで一つの目的を成し遂げようとするれば、当然助け合う必要も出てくるから、どちらでもよいのかもしれませんが、松戸一、小さな学校のみんなが、松戸一、楽しく充実した学校にするという「目的」のために「心をひとつにする」合言葉としてはぴったりだと思いませんか。

去年より1.5倍楽しんで、1.5倍汗をかく。そんな1年にしていきたいと思います。

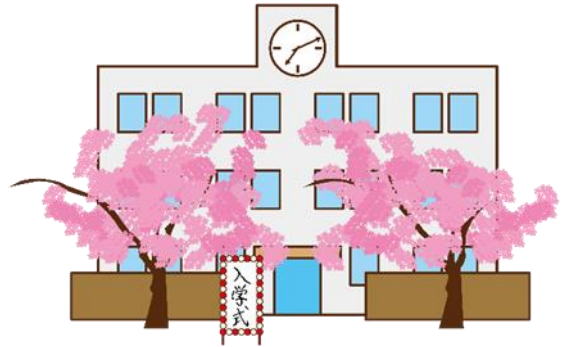
何度も申し上げているとおり、人口50万人にもなる首都圏の自治体の中心部に位置する学校としては、全校児童数が減ったとしても、それがすぐに「統廃合」と言った問題に繋がりません。現状でそうした話題は公的にありません。それよりも、目の前の子どもたちにいかに充実した実りある学校生活を送らせるかと言うことが最重要課題です。

小規模校の強みは、小回りの効く教育活動が展開でき、児童一人ひとりに目を届かせて指導がしやすいということです。反対に弱みは、なんと言っても活気がなくなるということだと思います。この強みをいかし、弱点を克服するためには、私たち教職員と保護者の皆様とのより強い連携が必要です。今年度も変わらぬご理解とご協力をいただきながら、子どもたちの充実した学校生活の構築という同じ目標のため心をひとつにしていきたいと思います。よろしく願います。

松戸一小さい学校の充実した学校生活のために…「がんばろう 常一小！」

よろしくお願いします

担任等の紹介は、配布された学校だよりでご確認ください。



○充実した学校生活のために～ご家庭や地域のみなさまへの協力のお願ひ～

☆家庭学習の習慣を身につけましょう

- 家に帰ったら初めに宿題をしよう。
- テレビやタブレットなどは消して学習に取り組もう。
- 時間を決めて学習に取り組むようにしよう。(学年ごとに目標とする時間の長さがあります)

☆すすんで運動するようにしましょう

- 感染症予防の対策として体力向上は不可欠です。
- 徒歩の登下校だって立派な運動です。

☆登下校時の子どもたちの安全の見守りにご協力をお願いします。

- 保護者の目、地域の目で子どもたちを守りましょう(気になることがあれば学校まで)
- 1、2年生の黄色い帽子着用にご協力を(子どもたちを目立たせます)

